



第 31 号

発行
愛知県立美和高等学校同窓会
事務局
〒490-1295 あま市篠田五ツ藤1番地
TEL 052-443-1700
FAX 052-442-3917
<http://www.miya-h.aichi-c.ed.jp/>



4月6日(木)に入学式が挙行されました。
41回生200名の高校生活がスタートしました。



ご協力を賜り、感謝申し上げます。

本校は昭和58年の開校以来、多くの卒業生が巣立っていったわけですが、その数は、今年3月の卒業生で11461名となりました。私は「仕事柄、さまざまな場所ですぐに『美和高校の校長です』と名乗ることがあるわけですが、相手の方から『私、美和高校の卒業生なんです』と言われたことが度々あります。地元から離れた場所であっても、この言葉を耳にすることがあります。嬉しい限りです。本校の卒業生の皆さんが各方面で活躍されている。これは在校生にとっても喜ばしいことですし、心強いと思います。

先日、野球部の夏の大会の応援に豊田球場まで行ってきました。対戦相手は豊田市にある高校でしたので、アウェイな雰囲気の中での戦いになるかと思っていたのですが、全く逆で、まるでホームゲームのようでした。応援席では父母会の方たちが応援グッズや飲み物を用意してくださり、応援歌の歌詞カードまで配っていただきました。また、ここ数年は、新型コロナウイルス



「母校とはいいいですね」

できました。この歴史の中でご尽力いただきました
た教育委員会・歴代校長そして教員の皆様、
事務局、そして同窓生、在校生の皆様に深く感
謝申し上げます。

母校・美和高校にとって四十一年たった今でも
変わらぬものは、校訓である「和」だと私は
思います。現在、この「和」は地域ネットワーク
の「和」へ進化しています。その「和」は、在
校生による様々な地域的ボランティア活動への
参加、それらを集約した「美和高マインド」と
しての活動、さらにはそれらの活動は中高一貫
へもつながっています。したがって美和高校は
「和」をテーマのもとで、地元で活躍できる人
材育成をめざし未来を拓く生徒を育てています
しかし、コロナ禍の三年間において母校でも
多くの行事が中止や縮小をよぎなくされました



「ご挨拶」

同窓会長 山崎一孝

イルス感染防止のために鳴り物を使つての応援ができなかったわけですが、今年それが解禁されたため、バスバンド部も応援席に陣取り、更に他の部のキャプテンたちも駆けつけて、声を張上げてくれました。彼らの内、3年生は最初で最後の応援になるわけで、一層気合が入っていたようですよ。試合前、時間の経過とともに応援席には続々と美和高OBが集まり、中には親子2代のOBの姿も見られました。一方、今年入学したばかりの1年生の姿も。電車を乗り継ぎ、乗り継ぎ、駅からは暑い中20分も歩いて来たそうですね。美和高が大好きだから応援に来たと言っていました。卒業生・現役生、保護者の皆さんが一体になって応援している様子を見て、私は胸が熱くなりました。母校愛とはいいいものです。余談ですが、私の母校の野球部は、昨年の大会で珍しく上位まで勝ち進み、そのことが話題となつて、音信不通だった高校時代の友人と何十年ぶりかで再会でき、在学当時の話で盛り上がることができました。

在校生の活躍や頑張りを通して卒業生が繋がる。それが連綿と続いていく。美和高校も確実にその輪が広がっていることを目にすることができました。

今年は久しぶりに同窓会総会と懇親会を開催することができそうです。多くの卒業生の皆さんが集まり、旧交を温める会になることを期待しています。本校の現状と話題はその折に報告させていただきます。当日を楽しみにしております。

が、今年より再出発の年と位置づけて進化をはじめていると聞いています。そして、同窓会も多く、事業が中止に迫り込まれましたが、ようやく総会が開催可能な状態にまでこぎつきました。したがって同窓会としても、母校と一緒に良好な関係を維持しながらも、新しい風の中で再スタートをしていかなばならないと考えております。

さて、私・山崎は、十一年間同窓会長を担当させていただく中で、同窓会の「和」の醸成と在校生のフイジカル・メンタル面での支援を旗印に、微力ながら活動してまいりました。皆様におかれましては誠に長きにわたりご協力いただき大変感謝申し上げます。今、同窓会にも新たな風を吹き込んでいくことが私の使命と考えております。ところで、再開後最初の同窓会総会・懇親会は、十一月十一日(土)の開催を予定しておりますが、会場は変更となります。新しい美和高校同窓会にご期待いただき、ご都合のよろしい方はご参加いただきますようお願い申し上げます。

最後に、新型コロナウイルス第九波が全国を襲っております。会員の皆様におかれましてはくれぐれもお体には御自愛いただきますようお願い申し上げます。